



復活祭って何なの

キリストの復活を祝うキリスト教の祭日

復活祭は、キリストが十字架にかけられ、殺されてから3日めに復活したと信じられているキリストの復活を祝う、キリスト教の祭りです。復活祭は、キリスト教最大の祭日です。イースターともいいます。

復活祭は、毎年、春分後の最初の満月の次の日曜日に行われます。この祭日は、年によって移動し、3月22日から4月25日に行われます。

復活祭（イースター）は日曜日（サンデー）に行うので、イースターサンデーともいいます。また、イースターの日に、思い思いの衣装をつけて町を練り歩く、イースターパレードが行われます。

復活祭の前の週を聖週間といい、各曜日の名前に聖をつけてよびます。特に、聖木曜日に最後の晩餐（夜の食事）を、聖金曜日にキリストの受難と死を、聖土曜日の夜から復活祭当日にかけて、復活の祭りを盛大に行います。

イースターエッグとイースターバニー

復活祭には、染め付け卵（イースターエッグ）とウサギ（イースターバニー）がつきものです。ウサギには、宗教的な意味は何もありませんが、卵は新しい生命を意味し、復活祭のおくり物やかざり物にします。（監修・青木 国夫）

